

編集後記

前任の倉本さんを引き継いで、本号から編集幹事になりました城野と申します。今後ともよろしくお願い致します。編集作業を行うのは、学部生の頃にサークルの会報を作っていたとき以来なので少し懐かしい気がしています。その頃に比べると原稿の集まりがはるかにいい(編集長のおかげです)のが大きな違いですね。

さて、先日私は<子ども>のための哲学(永井均著 講談社現代新書 1301)という本を読みました。この本を要約すると次の2点にまとめられるかと思います。著者は子どものころ、なぜほくはほくであるのか、ほくをほくたらしめているものは一体なにか? という"全身全霊を傾けて発せられた単なる知的疑問"を持ってしまいこの問題を考え続けることとなります。これが第一点です。第二点は、哲学は(他人の思想を)勉強することではなく、することであるということです。なにもないところから自分なりの問題を素手で思考することが哲学の本質であって、他人の作り上げた哲学を勉強することには何も意味がないと著者は主張します。

以上の2点は科学を行うこと(たとえば惑星科学)にもかなりあてはまるのではないのでしょうか。

私たちが研究を始めるとき、多くの場合は教官の指導を受けてある研究テーマに取り組むことになります。しかし往々にして自分の行っている研究テーマが"全身全霊を傾けて発せられた単なる知的疑問"とは違うと感じ「自分なりの」研究テーマを見つけようとします。その過程で教官と喧嘩することもあるでしょう。自分の考えと他人のものは違うのが自然です。教官のテーマをやり続けることをたとえて言うなら、他人の絵の模写を繰り返しているようなものです。人は自分なりの絵を描こうと多くの試行錯誤を重ねます。セザンヌもマティスもゴッホも苦悩のすえ独自の画風を確立しました。

多くの試行錯誤の末"全身全霊を傾けて発せられた単なる知的疑問"に我々もたどり着いたとします。そこから私たちは何をするのでしょうか。「自分なりの」研究テーマは前例がないのが普通なので実験、観測装置を一から作り、理論を基礎から整備しておきます。この過程に科学の本質があるのでしょうか。この意味では科学も哲学と同様に勉強することではなく、することであると言えます。

それでは結局のところ科学をするということはどういうことなのでしょう? 実験、観測装置を作り、理論を整備するとは何をしていることになるのでしょうか。「自分なりの」世界を作っていくことである、と私は考えています。科学をすることは世界の一部を実験室で再現し、数式で写し取ることではありません。自ら世界を発見=構成していくことです。したがって科学をすることは世界を表現することではなく逆に自らを表現することになります。科学と芸術の区別はそれほどありません。微分方程式を立てるのも油絵を描くのも同じです。こう考える方が、科学をやるにも楽しくなると思うのですがみなさんはいかがでしょう?

城野 信一

編集委員

井田 茂 [編集長] 城野 信一 [幹事]

荒川 政彦 飯島 祐一 加藤 工 北島富美雄 小林 憲正 小林 直樹 高木 靖彦 高田 淑子
田近 英一 出村 裕英 中村 智樹 中村 良介 平田 岳史 松島 弘一 米田 成一 渡部 潤一

2001年3月25日発行

日本惑星科学会誌 遊・星・人 第10巻 第1号

定 価 一部 1,750円 (送料含む)

編集人 井田 茂 (日本惑星科学会編集専門委員会委員長)

〒152-8551 東京都目黒区大岡山2-12-1 東京工業大学大学院理工学研究科
地球惑星科学専攻

印刷所 〒135-0011 東京都江東区扇橋3-5-10 星光社

発行所 〒113-8622 東京都文京区本駒込5-16-9 学会センターC21

日本学会事務センター内 日本惑星科学会

TEL 03-5814-5801 FAX 03-5814-5820

本誌に掲載された寄稿等の著作権は日本惑星科学会が所有しています。

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を個人的な使用の目的以外で複写したい方は、著作権者から複写権等の行使の依託を受けている次の団体から許諾を受けて下さい。

著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、直接日本惑星科学会へご連絡下さい。

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル 学術著作権協会

TEL: 03-3475-5618, FAX: 03-3475-5619

E-mail: kammori@msh.biglobe.ne.jp

地球惑星科学関連学会連絡会ニュース

No.21

(2000年12月)

地球惑星科学関連学会2001年合同大会のお知らせ

合同大会運営機構

会期：2001年6月4日(月)-8日(金)

(6月3日(日)青少年セミナー)

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター

各種登録開始・締切日

● 講演登録

登録開始：2001年1月10日

締切：2001年3月30日午後5時

● 事前参加登録

登録開始：2001年1月10日

締切：2001年3月30日午後5時

● 青少年総合センターへの宿泊登録

登録開始：2001年2月1日

締切：2001年3月30日午後5時

上記の各種登録は下記の合同大会ホームページから行なっていただきます。

<http://mc-net.jtbcom.co.jp/earth2001/>

どうしても電子投稿・登録の手段が確保できない方は、下記にご連絡下さい。

●地球惑星科学合同大会運営機構 事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学理学部新1号館719室

E-mail: office@jmoo.eps.s.u-tokyo.ac.jp

Fax.03-5800-6389

目次

§ 1 合同大会案内サマリー

§ 2 セッション案内

§ 3 個人情報登録, 参加登録, 講演登録, 宿泊登録

§ 4 投稿費および参加費

§ 5 青少年総合センターへの宿泊

§ 6 運営機構からのお知らせ

§ 1 合同大会案内サマリー

下記のURLに2001年合同大会に関する情報および各種登録ページが置かれています。

合同大会ホームページ

<http://mc-net.jtbcom.co.jp/earth2001/>

詳しくは上記のホームページをご覧下さい。情報は随時更新しますので、参加者は是非、時々ご覧いただくようお願い致します。

§ 1.1 各種の登録

以下の登録はすべて上記ホームページから行なって下さい。

- 1) 個人情報登録
- 2) 事前参加登録
- 3) 予稿集原稿登録
- 4) 宿泊登録

1), 2)は参加者全員に必須です。2)を行なうためには、前もって1)が必要です。ただし、昨年度登録済の

方は再度行う必要はありません。講演申し込みをされる方は1), 2)に加えて3) 予稿集原稿登録を行なって下さい。共著の場合は、共著者についても1)が必要ですのでご注意下さい。

会場の青少年総合センターへの宿泊を希望される方は、1), 2)に加えて、4) 宿泊登録を行なって下さい。
* 当日発表される方も参加登録が必要です。昨年は参加登録をされずに、会場で直接発表される演者が多数いましたので、ぜひ事前登録されることをお勧めします。

§ 1. 2 住所変更

プログラムおよび予稿集CD-ROMは、事前参加登録者のみに5月末頃迄に発送される予定です。

転勤・卒業等で住所変更が生じた方は、合同大会ホームページ

<http://mc-net.jtbcom.co.jp/earth2001/>

上で、4月30日までに住所変更手続きを行なって下さい。

§ 1. 3 各種登録締切日および費用

●予稿集原稿登録

締切：3月2日(金)午後5時

投稿費(1件につき)：1,500～3,000円

図の追加料金：1,000円

●事前参加登録

締切：3月30日(金)午後5時

参加費：一般9,000円、学生6,000円

●宿泊登録

締切：3月30日(金)午後5時

(但し、定員を超えた場合にはこの前に締め切られます。)

宿泊費：例年とおり、ユースホステルタイプ及びビジネスホテルタイプの固定スケジュールのものを用意します。

ユースホステルタイプ

4泊(6/4-7)コース 11,000～13,000円

ビジネスホテルタイプ

4泊(6/4-7)コース 19,000～21,000円

予約数の関係上、3泊・5泊コースも検討中。

§ 1. 4 保育希望の方へ

1-6歳児の託児サービス(利用時間に応じて実費負担)をご希望の方は以下のアドレスまで、電子メールでご連絡下さい。0歳児のいらっしゃる方、就学児童をお連れの方なども別途ご相談に応じます。

木戸 ゆかり

海洋科学技術センター

海底下深部構造フロンティア

〒237-0061 横須賀市夏島町2-15

E-mail: kidoy@jamstec.go.jp

§ 2 セッション案内

講演要旨の投稿は、1～2月中に合同大会ホームページ(§3参照)上で行なって下さい。最終締切りは3月2日(金)です。暗くならないためスライドが使用できないセッション会場がありますので、講演申込みの時ご注意ください。電子投稿に関する質問は下記で受け付けます(土日・祝日を除く)

●地球惑星科学関連学会2000年合同大会 登録事務局

〒530-0001 大阪市北区梅田2丁目4番9号

サンケイビル本館7階 株式会社ジェイコム内

E-mail: earth@jtbcom.co.jp

Fax: 06-6456-4105

どうしても電子投稿の手段が確保できない方は下記にご連絡下さい。

●地球惑星科学合同大会運営機構 事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学理学部新1号館719室

E-mail: office@jmoo.eps.s.u-tokyo.ac.jp

Fax: 03-5800-6389

上記「合同大会ホームページ」にセッション一覧リスト

が置かれておりますのでご参照下さい。尚、それぞれのセッションについての問い合わせは、ホームページにあります各セッションの連絡先へお願いします。

§ 3 個人情報登録, 事前参加登録, 講演登録, 宿泊登録

上記の全ての登録は§1で書いた「合同大会ホームページ」にて行なって下さい。

<http://mc-net.jtbcom.co.jp/earth2001/>

登録内容は以下のとおりです:

1. 個人情報登録 (個人情報 ID 番号 取得)
2. 事前参加登録, 予稿集原稿登録, 宿泊登録

●個人情報登録と個人情報 ID 番号

*既に個人情報登録をされてID番号を取得している方:

ID番号は今年度も有効ですので再登録は必要ありません。

所属や身分が変わった方は「合同大会ホームページ」において個人情報変更を必ず行って下さい。ご自分のID番号やパスワードを忘れた方は「合同大会ホームページ」の「各登録方法について」にアクセスして問い合わせすることができます。

*まだ個人情報登録されていない方(共著者を含む):

まずは個人情報登録を行なっていただき、個人情報ID番号を取得して下さい。

登録された個人情報は、個人情報ID番号によって参照され、参加登録、予稿集原稿登録、宿泊登録に利用されます。この際、講演者だけでなく共著者も個人情報ID番号の登録が必要です。共著者の個人情報ID番号が登録されていない場合は、予稿集に共著者名が載らないこととなりますのでご注意下さい。個人情報登録後は、著者リストには個人情報ID番号を入力するだけでOKです。共著者がすでに個人情報登録を済ませている場合は、ID番号を「合同大会ホームページ」にて検索できます。

個人情報登録のために必要な情報としては以下を

予定しています:

氏名(漢字, カタカナ, 英語) 姓と名別々に

所属学会(複数選択式)

所属機関名(漢字, カタカナ, 英語)

所属機関名略称(漢字, 英語)(表示用)

所属機関住所(漢字, 英語)

身分(学生, 一般 選択式)

学生証番号(学生の場合)(学生確認用)

一般の場合タイトル(教授, 助教授, 助手, 等)

TEL, FAX, E-mail

これらのデータは、次年度以降の合同大会への各種登録の基礎データとして保存される予定です。

●事前参加登録, 予稿集原稿登録, 宿泊登録

詳細は§1に書いた「合同大会ホームページ」

<http://mc-net.jtbcom.co.jp/earth2001/>

をご覧下さい。必要な情報は1999年大会、及び2000年大会とほぼ同じです。予稿集原稿は原則として、通常テキスト形式のみとします。図については、図処理用追加料金1,000円で受け付ける予定です。

●プログラム編集作業

現段階では仕様は未定です。各セッションのセッションマスター1名(提案者, 連絡先, コンビナー等のうちの1人)が、プログラム編集用のホームページにて作業を行ないます。

§ 4 投稿費および参加費

本年度より「郵便振り込み」のみで集めさせていただきます。予稿集原稿登録料と参加費は(センター宿泊の場合は宿泊費も)一括請求されます。参加申込み後、郵便振り込み用紙が郵送されます。

校費扱いにつきましては財務担当(中村 電話03-5841-4591 メールはご遠慮下さい。)へお問い合わせ下さい。

§ 4. 1 予稿集原稿登録料

受付日時：

1月10日(水)～2月23日(金)午後5時 1,500円
2月23日夜～3月 2日(金)午後5時 3,000円

予稿集原稿に図を入れた場合の、図処理用追加料金は1,000円です。

§ 4. 2 参加費

事前登録：3月30日(金)午後5時まで

一般：9,000円

学生：6,000円

当日登録：大会期間中の会場の総合受付にて、現金払いのみ。

(大会当日は午前8時30分～午後3時の予定)

一律：12,000円

§ 4. 3 取消手数料

●振込後、参加を取り消されても予稿集原稿登録料の返金はできませんので、あらかじめご了承下さい。

●参加費の取消手数料

2000年5月15日(火)まで：1,000円

2000年5月16日(水)以降：取り消しできません

§ 5 青少年総合センターへの宿泊

大会会場の青少年総合センター附属の宿舎の宿泊予約の締め切りは3月30日です。但し、確保しました部屋数には限りがありますので、申し込み数が定員を超えた場合にはその前に締め切ることもあります。宿泊予約は以下のホームページ上でのみ行っており、郵便、FAX等ではできません。

<http://mc-net.jtbcom.co.jp/earth2001/>

チェックインはセンター棟103号室(当日の大会受付と同じ部屋)で午後5時30分から午後9時までに行ってください。午後9時以降のチェックインはできません

のでご注意下さい。

部屋はすべて個室(男女別)ですが、ビジネスホテルタイプ(バス・トイレ付き)とユースホステルタイプ(バス・トイレ共同でベッドメイキングは利用者が行う)の2種類があります。

●宿泊費 § 1. 3をご参照下さい。

宿泊費、予稿集原稿登録料と参加費と共に一括請求されます。

(§ 4参照)

詳細は「大会ホームページ」をご覧ください。

●宿泊費の取消手数料

2000年6月1日(金)まで：無料

2000年6月2日(土)～8日(金)：1,000円

2000年6月9日(土)以降：全額(返金しない)

§ 6 運営機構からのお知らせ

§ 6. 1 大学LOCから運営機構へ

大会も回を重ね2001年大会で、12回目を数えます。21世紀の始めとなると同時に、その運営が各大学LOCから新たに発足した合同大会運営機構へと移行されて、初めての開催となります。過去の多くの研究者・大学関係者の皆様のご尽力を無駄にせず、今後継続的に、魅力溢れ意義ある大会の開催を目指します。何分にも新体制で、不慣れな部分も多く、行き届かないことも多々あると思いますが、立ち上げ時故とご了承頂きたく、同時に、地球惑星関連の研究者皆様ご自身の大会として育てていただきますようご協力をお願い致します。運営機構は合同大会開催へ携わろうとする各学会や研究者にオープンな組織です。多数の皆様の参加を歓迎いたします。ご意見ご希望がございましたら、遠慮なくご連絡下さい。今後の蓄積とさせていただきます。

運営機構のホームページを立ち上げております。運営機構のことだけでなく、2001年合同大会の準備状況、各学会へのリンク、地球惑星科学関連の専攻、学科、研究所へのリンク、連絡会のお知らせ、等を掲載

していきます。

URL <http://www-jm.eps.s.u-tokyo.ac.jp/>

§ 6. 2 合同大会当日の受付時間について

合同大会期間中の受け付けは、以下の時間に開設する予定です。

当日参加受付

大会前日 3日(日) 受け付けしません

大会期間中の受付

4日(月)～8日(金)

AM 8:30～PM 3:00 センター棟 103号室

宿泊施設のチェックイン

4日(月) PM 5:30～PM 9:00 センター棟
103号室

3日(日)・5日(火)の受付も検討中。

§ 6. 3 懇親会場

ポスター会場近くのレセプションホールに最終日を
除く毎夕、議論・歓談できる空間を設ける予定です。

§ 6. 4 展示申請

研究団体・出版社・企業などによる研究紹介・書籍・機器などの展示を希望される方は次の項目を文書に明記して、3月末日(最終締切)までに申請して下さい。申し込み用紙も事務局に用意しております。直接ご請求下されれば、詳細と合わせて郵送致します。詳細は、後日ホームページ上に案内掲示予定です。

- (1) 団体名・所在地
- (2) 担当者氏名, 電話, Fax, E-mail等
- (3) 展示内容, 必要スペース・電力等

(宛先)

地球惑星科学合同大会運営機構 事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学理学部新1号館719室

E-mail: office@jmoo.eps.s.u-tokyo.ac.jp

Fax.03-5800-6389

§ 6. 5 合同大会会場における会合申込み

会合・集会を行う団体の部屋使用希望の申し込みは以下の5項目を明記の上、4月末日までに運営機構総務局2001年担当責任者岩上(iwagami@eps.s.u-tokyo.ac.jp)までメールにてお願いいたします。WWW上では申し込みません。使用料は下表の通り。尚、希望に沿えない場合があります。特に食事可能な部屋は2つしかありません。

- 1) 会合名称
 - 2) 申込み責任者とそのメールアドレス
 - 3) 希望する部屋の大きさ(下表参考)
 - 4) 希望する時間(開始・終了時刻)
 - 5) 食事の希望有無
- 定員 160人越え: 10,000
定員 160人まで: 7,000
定員 80人: 4,000
定員 40人: 2,000
定員 20人: 1,000
定員 20人(食事可能): 4,000(部屋代のみ)

部屋の利用時間は、1コマの単位(1.5時間を目安)とします。

§ 6. 6 2001年合同大会組織委員会の構成と連絡先

★大会委員長: 松浦充宏>

matsuura@eps.s.u-tokyo.ac.jp

<<運営機構>>jm-ml@jmoo.eps.s.u-tokyo.ac.jp

★代 表: 浜野洋三> hamano@eps.s.u-tokyo.ac.jp

★財務局: fc-ml@eps.s.u-tokyo.ac.jp

中村正人> 2001年担当責任者

mnakamur@eps.s.u-tokyo.ac.jp

木村 学> gaku@eps.s.u-tokyo.ac.jp

黒石裕樹> yuki@gsi-mc.go.jp

佐倉保夫> ysakura@earth.s.chiba-u.ac.jp

綱川秀夫> htsuna@geo.titech.ac.jp

渡辺誠一郎> seicoro@eps.nagoya-u.ac.jp

★企画局: plan-ml@jmoo.eps.s.u-tokyo.ac.jp

- 木村 学 > 2001年担当責任者
gaku@eps.s.u-tokyo.ac.jp
- 安藤雅孝 > ando@seis.nagoya-u.ac.jp
- 浦辺徹郎 > urabe@eps.s.u-tokyo.ac.jp
- 大谷栄治 > ohtani@mail.cc.tohoku.ac.jp
- 末広 潔 > suyehiro@jamstec.go.jp
- 深尾良夫 > fukao@eri.u-tokyo.ac.jp
- 丸山茂徳 > smaruyam@geo.titech.ac.jp
- 安原正也 > masaya@gsj.go.jp
- ゲラーロバート > bob@eps.s.u-tokyo.ac.jp
- ★情報局：it-ml@jmoo.eps.s.u-tokyo.ac.jp
- 田近英一 > 2001年担当責任者
tajika@eps.s.u-tokyo.ac.jp
- 大村善治 > omura@kurasc.kyoto-u.ac.jp
- 倉本 圭 > keikei@ep.sci.hokudai.ac.jp
- 林 祥介 > shosuke@gfd-dennou.org
- 古屋正人 > furuya@eri.u-tokyo.ac.jp
- 宮本英昭 > miyamoto@geosys.t.u-tokyo.ac.jp
- 塚本尚義 > yuri@geo.titech.ac.jp
- ★総務局：ga-ml@jmoo.eps.s.u-tokyo.ac.jp
- 岩上直幹 > 2001年担当責任者
iwagami@eps.s.u-tokyo.ac.jp
- 石橋純一郎 > ishi@geo.kyushu-u.ac.jp
- 沖野郷子 > okino@ori.u-tokyo.ac.jp
- 中村美千彦 > lessy@geo.titech.ac.jp
- 浜野洋三 > hamano@eps.s.u-tokyo.ac.jp
- 松浦充宏 > matsuur@eps.s.u-tokyo.ac.jp
- 湯元清文 > yumoto@geo.kyushu-u.ac.jp
- 渡部重十 > shw@ep.sci.hokudai.ac.jp
- ★プログラム局 pro-ml@jmoo.eps.s.u-tokyo.ac.jp
- 阿部豊 > 2001年担当責任者・プログラム委員長
ayutaka@eps.s.u-tokyo.ac.jp
- 伊藤谷生 > tit@earth.s.chiba-u.ac.jp
- 岩森 光 > hikaru@eps.s.u-tokyo.ac.jp
- 小野高幸 > ono@stpp3.geophys.tohoku.ac.jp
- 多田隆治 > ryuji@eps.s.u-tokyo.ac.jp
- 中嶋 悟 > satoru@geo.titech.ac.jp
- 原辰 彦 > thara@kenken.go.jp
- 村江達士 > murae@geo.kyushu-u.ac.jp
- 吉田武義 > tyoshida@mail.cc.tohoku.ac.jp
- 吉田尚弘 > naoyoshi@depe.titech.ac.jp
- 渡辺誠一郎 > seicoro@eps.nagoya-u.ac.jp
- ★事務局 office@jmoo.eps.s.u-tokyo.ac.jp
- 谷上美穂子 > tanigami@eps.s.u-tokyo.ac.jp
- 学会選出プログラム委員
- ★地球化学会
- 大場 武 > ohba@ksvo.titech.ac.jp
- 奈良岡浩 > naraoka-hiroshi@c.metro-u.ac.jp
- ★測地学会
- 古屋正人 > furuya@eri.u-tokyo.ac.jp
- 松本晃治 > matumoto@miz.nao.ac.jp
- ★地球電磁気・地球惑星圏学会
- 綱川秀夫 > htsuna@geo.titech.ac.jp
- 早川基 > hayakawa@stp.isas.ac.jp
- ★地質学会
- 安藤寿男 > ando@mito.ipc.ibaraki.ac.jp
- 木村克己 > kimura@gsj.go.jp
- ★日本岩石鉱物鉱床学会
- 石川正弘 > ishikawa@ed.ynu.ac.jp
- 榎並正樹 > enami@eps.nagoya-u.ac.jp
- ★鉱物学会
- 松井正典 > matsui@geo.kyushu-u.ac.jp
- 塚本尚義 > yuri@geo.titech.ac.jp
- ★惑星科学会
- 荒川政彦 > arak@orange.lowtem.hokudai.ac.jp
- 高田淑子 > toshiko@ipc.miyakyo-u.ac.jp
- ★第四紀学会
- 鈴木毅彦 > suzuki@comp.metro-u.ac.jp
- 中村俊夫 > g44466a@nucc.cc.nagoya-u.ac.jp
- ★地震学会
- 鷲谷 威 > sagiya@gsi-mc.go.jp
- 谷岡勇市郎 > ytanioka@mri-jma.go.jp

★火山学会

高田 亮 > takada@gsj.go.jp

藤田英輔 > fujita@geo.bosai.go.jp

★資源地質学会

今井 亮 > akira@tsunami.geol.s.u-tokyo.ac.jp

浦辺徹郎 > urabe@eps.s.u-tokyo.ac.jp

(以上五十音順敬称略)

●お問い合わせ先

■大会全般・大会プログラムなど内容に関して

地球惑星科学合同大会運営機構 事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学理学部新1号館719室

E-mail: office@jmoo.eps.s.u-tokyo.ac.jp

Fax.03-5800-6389

■参加登録・予稿集原稿登録など実務作業に関して

地球惑星科学関連学会2001年合同大会 登録事務局

〒530-0001 大阪市北区梅田2丁目4番9号

サンケイビル本館7階 株式会社ジェイコム内

E-mail: earth@jtbcom.co.jp

Fax.06-6456-4105

(お問い合わせ受付時間)

月曜日～金曜日 9:30～18:00 (土日・祝日を除く)

時間外にいただきましたお問い合わせにつきまして
は返答が次営業日になりますのでご注意ください。

学会誌原稿作成の手引

日本惑星科学会編集専門委員会

1. 原稿の様式

はじめに委員長宛に投稿するときはプリントアウトした原稿2部、最終稿では原稿2部（1部に字体、図表の位置指定）とテキストファイルを提出すること。原稿は、原則として、ワープロにより作成されたものとする。また、テキストファイルはフロッピーまたは電子メールで送付のこと。テキストファイル以外の場合は事前に編集幹事に相談のこと。

2. タイトル

記事のタイトルは15字以内。また、タイトル、筆者名及び所属を和文・英文両方で付す。

3. セクション

セクションは1., 2., ..., サブセクションは1.1, 1.2, ..., 細区分は(1), (2), ..., の記号を頭にして、左寄せ、行末改行とする。また文中での区分けは(a), (b), (c)を用いる。これら記号はすべて半角文字を用いる。セクションタイトルは12文字以内で簡潔に、また、セクションタイトルとして“はじめに”、“おわりに”、“まとめ”は避ける。

4. 述語

専門用語はなるべく避けるか、十分な説明をつける。特に、対応する日本語がある場合、英語・英略語は使わない。

5. 字体

数字、英字は半角とする。また(,), [,], :, ;など区切り記号も半角を用いる。本文は立体(ローマン)、数式はイタリックで組む。本文中のイタリックは下線、数式中の立体(ローマン)は2重下線、ゴチック(ボールド)は鼓下線で朱記指定する。

6. 単位

使用単位については特に統一しない。ただし、 gcm^3 , cms^{-1} などとはせず、 g/cm^3 , cm/s とする。

7. 句読点

句読点は全角の“,”、“.”を用いる。

8. 図、表、画像

文中での図表の引用は“図1”、“表2”の形をとる。最終項送付に際して、図表、画像の刷り上がり時の大きさと位置を指定のこと。画像の投稿については、1) 写真の場合：印刷時実寸以上のサイズで鮮明なもの、2) 画像ファイルの場合：印刷時実寸で350dpi相当以上、形式はtiffが望ましい。他の文献から図表を転載する場合には予め編集委員会に照会のこと。

9. 脚注

脚注は“1”などの記号をつける。

10. 文献の引用

引用文献は重要なものに限る。目安として10項目以内にする。本文中での引用は[1], [2]の形で通し番号をつけ、論文の末尾に一括してリストを載せる。使用言語は原論文に従い。論文名は省略する。3人以上の著者はet al.または他と表記する。形式は以下に従う。

参考文献

- [1] Wakusei, T. and Kinsei, S., 1989: *Astrophys.* **220**, 293-330.
 [2] Wakusei, T. et al., 1999: *J. Geophys. Res.* **123**, 4567-4572.
 [3] 惑星太郎, 1992: *天文月報* **85**, 186-190.

11. 原稿の送付先

投稿時の原稿送付先は

152-8551 東京都目黒区大岡山 2-12-1
 東京工業大学大学院理工学研究科
 地球惑星科学専攻 井田 茂
 FAX: 03-5734-3538

E-mail: ida@geo.titech.ac.jp

最終稿の送付先は

464-8602 名古屋市千種区不老町
 名古屋大学理学研究科地球惑星理学専攻

城野信一

FAX: 052-789-3013

E-mail: sirono@eps.nagoya-u.ac.jp